医師の負担の軽減及び処遇の改善の取り組みについて

令和7年4月1日
ときわ会 磐城中央病院

1. 医師の負担の軽減及び処遇の改善に資する体制

- (1) 医師の負担の軽減及び処遇の改善に関する責任者
医師：長島 淳
- (2) 医師の勤務状況の把握
勤務時間 40時間/週以内 タイムカード
年次有給休暇取得率 時間外業務の把握
当直回数 1回/月
- (3) 職種からなる役割分担推進のための委員会又は会議
安全衛生委員会 1回/月 達成状況の評価
- (4) 医師の負担の軽減及び処遇の改善に資する計画
計画の策定、年に1回の見直しと職員に対する周知（院内掲示）
- (5) 医師の負担の軽減及び処遇の改善に関する取組事項の公開
院内掲示 ホームページに公開

2. 医師の負担の軽減及び処遇の改善に資する計画

- (1) 医師と医療関係職種、医療関係職種と事務職員等における役割分担

項目	取り組み
初診時の予診・問診の実施	初診にて来院された患者様に対して、受付にて問診実施。 看護師が診察前に予診を実施する。
静脈注射等の実施	採血・点滴等は看護師が実施する。
入院の説明の実施	入院が決定した患者様やご家族様に対して、看護師や 補助者が入院の説明を実施する。 適時医療ソーシャルワーカーや事務職員がサポートする。
検査手順の説明の実施	検査種別のパンフレット等を利用し看護師が 説明の実施をする。
服薬指導	薬剤師が投薬前説明、医師の依頼に基づく 薬剤管理指導を実施する。
医師事務作業補助者の配置	医師事務作業補助を配置し、医師の指示のもと診断書等の 文書作成補助、診療記録への代行入力、 行政手続きの補助等を実施する。

(2) 医師の勤務体制等に係る取組

項目	取組み
勤務計画上、連続当直を行わない勤務体制の実施	2夜連続での当直割り振りは行わない。
前日の終業時刻と翌日の始業時刻の間の一定時間の休息時間の確保（勤務間インターバル）	勤務間インターバルを9時間以上確保する。
予定手術前日の当直や夜勤に対する配慮	予定手術日の前日に当直を割り振らない。 当直の翌日に手術を予定しない。
当直翌日の業務内容に対する配慮	当直翌日の業務を軽減して休息の確保を行う。
短時間勤務の導入	子育て中の医師の負担軽減として、育児短時間勤務を導入。
非常勤医師の活用	他医療機関からの非常勤医を活用して、常勤医の負担を軽減する。